

りんご輸出チャレンジャー報告

(名前 前田 智之)

<p>プロフィール</p> 	<p>平成6年3月に東京から帰郷し就農、りんご栽培に奮闘して今年で20年になりました。常日頃から、初心を忘れず、美味しく、消費者に喜ばれるりんごづくりを目指して頑張っていきたいと思っています。</p> <p>家族は、妻と子供2人、父母の6人家族です。</p>
<p>経営の特徴</p> 	<p>経営面積はりんご400aで、品種構成はふじが5割を占めており、その他につがる、ジョナゴールド、王林、シナノゴールド、トキ、金星など10品種ほどを栽培しています。ふじとつがるでは葉取らず栽培にも取り組んでいます。</p> <p>労働力は、私と息子(18歳)、父母の家族4人で、息子は今年から就農しました。妻は会社員ですが、休みの日は手伝ってくれます。雇用については、年間200人です。</p>
<p>輸出取り組みの抱負</p>	<p>輸出について、なかなか勉強する機会がないので、県の輸出チャレンジャー育成事業での研修を通して、台湾輸出のエキスパートとして、青森りんごをPRして行きたいです。</p>
<p>現在の作業状況</p>	<p>10/15 現在、主力品種ふじの葉取りやつる回しなどの着色管理作業に追われています。</p> <p>10/14 に台風19号が接近しましたが、幸い台風による被害もなく、ほっとしております。</p>
<p>今年のリんごの作柄</p>	<p>今年のリんごは、平年より開花が10日ほど早まったこともあり、収穫も1週間ほど早くなっています。また、夏場に雨量も多かった事から、りんごの肥大も良く、ふじでは、つる割れの発生が例年よりも多いと懸念されています。</p> <p>今年は、着色がいいこともあり、急がず十分に味のがのってから収穫すれば、大玉で美味しい、高品質なりんごを提供できると思います。</p>